

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名:佐渡市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
新潟交通佐渡(株)	系統名:国仲・金丸線 運行区間:佐和田BS～佐渡病院～新町学校前～新穂小学校前～佐和田BS	前年に引き続き「病院乗り入れ便のご案内」を作成し、市内全戸及び各病院等へ配布した。学生のバス利用を取り込むため、新規の対象者(高校)へ中学校及び中等教育学校を通じて学生ワイドフリー定期券制度を案内し、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 目標利用者数:18,000人 利用者数:15,319人 (達成率:85.1%) 新型コロナの影響による市民の需要減少が継続しており、達成率は昨年とほぼ同じであった。	病院乗り入れ便チラシや路線バス割引サービス利用証、学生ワイドフリー定期券などの路線バス利用促進施策について、引き続き周知、PRに努める。
新潟交通佐渡(株)	系統名:宿根木線① 運行区間:羽茂高校～小木港～宿根木～江積 系統名:宿根木線② 運行区間:小木港～宿根木～江積	小木直江津航路や小木線との接続ダイヤを設定し、利用促進に努めた。 一部の便で事前予約制のデマンドバスを導入し、効率的な運行に努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 目標利用者数:6,000人 利用者数:3,188人 (達成率:53.1%) 観光利用は僅かに増加傾向であるが、市民の需要減少が継続しており、達成率は昨年とほぼ同じであった。	主な利用者である高齢者向けに病院接続バスの案内や割引サービス制度を周知することで、利用者の増加を目指す。来島者へはモバイル対応の乗り放題バスの利便性を周知し、路線バス利用を促す。また、佐渡汽船ダイヤとの接続や他の路線との接続など、効率的な運行に努める。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名：	佐渡市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>鉄道の無い当市においては、学生や高齢者など運転免許を持たない交通弱者にとって通学や通院、買い物などの日常生活における主たる移動手段は路線バスであり、公共交通システムとしての路線バスの果たす役割は、本土の他地域に比べ非常に大きいものがある。</p> <p>国仲・金丸線は、地域間幹線の本線と佐和田バスステーションで接続する路線であり、主な利用者である学生や高齢者の通院等の移動手段として公共交通を確保するものである。また、ノンステップバスの運行によりバリアフリー化を図っているものである。</p> <p>宿根木線は、小木地域における生活交通路線としての利用のほか、航路利用者の二次交通としても利用されているため、佐渡汽船の運行時刻に接続するようダイヤを見直すとともに、終点を沢崎からこれまで運行の無かった江積・白木集落まで延伸及び太鼓体験交流館(金田新田方面)まで迂回したことで、交通空白域の解消を図っている。</p>